

## 「新しい広告評価の在り方」 ～日本メディアアナリシス業協会2011年セミナー～

『日本の広告業界の生産性、効率、そして透明性の高い取引を目指した、メディアパフォーマンスの「評価サービス」を浸透させる』ことを使命とする日本メディアアナリシス業協会(JMAA)(東京都、港区:<http://j-maa.or.jp/>)は、2011年10月6日、広告主、広告会社から約70名を招待し、広告ビジネス激動の時代における「新しい広告評価の在り方」に関するセミナーを開催した。

### ■事務局長の挨拶

冒頭、協会事務局長である丸田淳氏は、協会活動方針と、本セミナーの意味について、以下のように説明した。

日本メディアアナリシス業協会は、1)メディアアナリシス業事業者共通の利益のために活動を行い、2)メディアパフォーマンス評価業界全体の統計の収集や、分析、レポートなどの情報提供を通じて、産業の発展に寄与、3)また、第三者によるメディアパフォーマンス評価の重要性を啓蒙し、4)健全な競争環境の育成に努めることを目的に設立された協会である。そのため、メディア環境が大きく変動する今、「新しい広告評価の在り方」を議論することは、本協会の存在意義と密接に関連することであると認識を示した。

### ■基調講演

本セミナーの基調講演として、株式会社RMC 特別顧問 稗田政憲氏が、「新しい広告評価の在り方 ～パフォーマンス評価の重要性」と題して、プレゼンテーションを行った。稗田氏は、マーケティング投資のROIが重要である現代においては、広告主と広告会社のより良いパートナーシップの構築がより重要な施策となってきている現状を説明した。その上で、広告主にとり、広告会社を、コミュニケーションパートナーとして活用していく事の重要性を、度重なるコンペにより引き起こされる負の連鎖を例にとりながら、今後の課題として挙げた。



広告会社をコミュニケーションパートナーとして活用するためには、従来型のビジネスモデルを変更することが重要で、報酬制度の見直し、サービスベースの収支、より深い消費者への洞察、中立性の維持、戦略提案力、相互利益主義の確立など、広告主と広告会社双方にとり、解決すべき問題点がある。そのためには、広告会社や広告活動を正しく評価するための指標が必要であり、世界レベルでは一般化しつつある、広告主と広告会社の相互評価指標を導入することが、相互のビジネスの伸長に不可欠であることを説明した。

稗田氏は、「広告会社は、広告主のコミュニケーションパートナーとしての責任とそのための技術開発に努力するべきであり、広告主は、そうした広告会社の努力を、正当な評価システムを導入することにより、後押しする体制を構築する必要がある。」と強調した。

## ■ パネルディスカッション

基調講演に続き、広告主と広告会社によるパネルディスカッションが行われた。

今回のテーマは、広告主と広告会社の間での、効果的かつ客観的なパフォーマンス評価を行う事の意義について、議論するものであった。

イー・アクセス(株)花岡隆春氏は、広告主サイドの代表として、「パフォーマンス評価のためには、従来の狭義の意味でのKPIの設定という概念を飛び出し、広告活動そのものが、どのように企業の成長目標に貢献しているか、広義の意味でのKPI設定の概念の導入が重要である」と問題提起した。



それに対して、広告会社代表として、(株)マッキンゼーエリクソン・ストラットの沢目宗明氏からは、「依然として、一部不明瞭なメディア取引の慣行が継続している」現状が紹介され、狭義の部分でも、より綿密な監査や、パフォーマンス評価の導入が不可欠であるという指摘もあった。

また、メディアパフォーマンス評価の専門事業者である(株)エスピーアイのケントン ラフ氏からは、「近年は、欧米と同様に、国内でも総合的な広告活動のパフォーマンス評価から、細部に及ぶ効果検証まで、日本の広告主からの問い合わせが非常に増えている」現状が紹介された。

広告主サイドで、管理業務を担当する(株)東芝の島治氏は、「企業のコンプライアンス意識が高まる潮流の中で、広告部分だけが例外であることは許されず、第三者によるパフォーマンス評価は、今後の発展が大いに期待される分野である」との認識を示した。



## ■ 総括

セミナーの最後に、今回のディスカッションをリードした、RMC社の郡司恭子氏は、「正当なパフォーマンス評価の浸透は、このマーケットにおける広告投資を促進するひとつの重要な要因になるかもしれない」との期待を示し、日本メディアアナリシス業協会としても、より市場の透明化にむけた努力を継続していく事を表明し、総括とした。

日本メディアアナリシス業協会(JMAA)について: <http://j-maa.or.jp/>

『日本の広告業界の生産性、効率、そして透明性の高い取引を目指した、メディアパフォーマンスの「評価サービス」を浸透させる』ことを使命とし、2009年7月に設立(東京、港区)。

理事: 村山朗 (株)truestar 代表取締役、秋葉祐輔 (株)エスピーアイ 代表取締役社長

本講演会に関するお問い合わせ:

日本メディアアナリシス業協会事務局 [info@j-maa.or.jp](mailto:info@j-maa.or.jp)